

令和4年度 岩手県立金ヶ崎高等学校経営計画

校長： 宮 学

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の充実 ・学力の向上 ・希望進路の実現 ・良好な人間関係の構築 ・教育に係る諸活動充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の充実 ・学力の向上 ・希望進路の実現 ・学校情報の発信 ・教育相談体制確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健全育成 ・県内の小中学生が魅力を感じる学校 ・地域及び社会課題解決に貢献する人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望進路実現に向けた組織的対応 ・域内中学との連携 ・上級学校卒業後地域に定着する人材の育成 ・地域貢献活動の充実
	(2) パートナーとの関係	<ul style="list-style-type: none"> ・視野拡大 ・自己肯定感醸成 ・域内諸活動への積極的参画と真理の追求 ・他者を尊重する友愛の精神確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動への理解と積極的参画 ・教育環境に係る支援 ・教育活動の情報発信と説明責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会からの支援 ・教育活動への理解と積極的広報活動 ・地域関係諸団体との交流の前進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体及び教委との連携と支援 ・小中学校との連携 ・広報活動の充実 ・高大連携及び産学官連携の確立
	(3) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口減・少子化に伴う本校志願者の確保及び高校再編への対応 ・教員定数減を踏まえた開講科目確保や部活動合同チームへの対応 ・高大接続改革（入試改革）・新学習指導要領及びGIGAスクール構想への対応 ・新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた教育活動 			
2 校訓・教育目標		<ul style="list-style-type: none"> ・真理・前進・友愛の三つの柱のもとに、自己の可能性を追求しつつ、国際的な視野に立って国家及び社会の発展に貢献できる人間の育成を目指す。 			
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標	
		ア 探究的学びの推進による学力向上及び研修への積極参加等による授業力向上		・授業評価「授業の内容がわかる」 【国数英 80%】	
		イ 各種活動や行事等への積極参加を推奨、明朗で品位ある生徒の育成		・学校評価（生徒）「生徒は行事等に積極的に取り組んでいる」 【90%】	
		ウ 進路選択に向けた的確な情報提供と希望進路の実現		・学校評価（生徒）「HR や個人面談等で進路や生き方を考える機会が設けられている」【85%】	
		エ 広報活動等による社会に開かれた教育課程の実現		・学校評価（保護者）「適切な情報発信と開かれた学校づくりが行われている」 【65%】	
	オ 学校いじめ対策組織の取り組みを中核としたいじめの防止		・学校評価（生徒）「職員は生徒の悩みや相談に 真摯 に対応」 【80%】		
	(2) 取組方針	<p>ア 探究的学びの推進による学力向上及び研修への積極参加等による授業力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 授業互見や各種研修等を通して、教職員が相互に学びを深めるとともに、生徒に敬意を持ち、主体的・対話的で深い学びを基にしたわかる授業を実践する。 (イ) 地域関係諸団体や企業との連携を深め、協働して生徒が視野を広げて探究的に学ぶ機会を創設するとともに、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルの向上に努める。 (ウ) 正義と倫理を基調とした地球市民としての役割を自覚し、国際的な視野で地域及び社会課題解決にチャレンジするスピリットを涵養する。 <p>イ 各種活動や行事等への積極参加を推奨、明朗で品位ある生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 多様性を認識し、自他の生命や他者の人権を尊重する責任ある行動ができる生徒を育成する。 (イ) 生徒が主体的・自主的に運営する生徒会活動・学校行事・部活動やボランティア等の地域貢献活動を通し、リーダーシップや協調性を育む。 (ウ) いわたの復興教育スクール（内陸）を活用した「地域の防災拠点」としての地位を確立し、いたわりや相互扶助の精神にあふれ、決断力・実行力を持った生徒を育成する。 <p>ウ 進路選択に向けた的確な情報提供と希望進路の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 3年間を見通した体系的進路指導と徹底した面談指導を通し自己肯定感を醸成する。 (イ) いわて進学ネットワーク事業を効果的に活用し、高い志を育成するとともに、生涯を通じた社会貢献を実践する基盤形成のための指導を実践する。 (ウ) 未来ものづくり人材育成地域定着促進事業を活用し、域内のグローバル企業との連携を深めるとともに、上級学校卒業後に地元に着住し、地方創生を担う人材を育成する。 <p>エ 広報活動等による社会に開かれた教育課程の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 学校報「天翔ける翼」、諸会報、学年通信等で積極的な情報発信を行うとともに、学校ホームページを刷新し、開かれた学校づくりに努める。 (イ) いわたの高校魅力化・ふるさと創生推進事業を効果的に展開し、学校の魅力増進に努める。 (ウ) PTA・同窓会・後援会及び地域と連携し、組織的に生徒を育成する体制の確立を図る。 <p>オ 学校いじめ対策組織の取り組みを中核としたいじめの防止～早期発見と適切な対応～</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 平素から教職員相互に積極的に生徒の情報交換を実施し、共通認識のもと対応に従事する。 (イ) いじめアンケート回答に対する的確な対応及びS Cや関係機関との積極的連携に努める。 			